



みらいつうしん

5月号

2020年5月1日
 田園調布学園大学
 みらいこども園
 園長 勝浦芳子

☆笑顔の大切さ☆



澄みきった青空を爽やかな風に誘われて鯉のぼりが、気持ちよさそうに泳いでいます。皆様におかれましては、お元気にお過ごしでしょうか？

本来ならば、1号認定の3歳児のお子様も入園して1ヶ月が経ち、少しずつ園生活にも慣れ始める時期ですが、今回の新型コロナウイルスの影響で園生活がスタートできず大変申し訳なく、心苦しい気持ちで一杯です。また、ご家庭で、外出自粛をされているご家族の皆様にも、ご協力をいただき、不自由をおかけしております。日に日に感染者が増加し、皆様の努力の甲斐もなく、未だに終息の兆しが見えない毎日でございます。しかしながら、大切な命を脅かす恐ろしいウイルスですので、今は忍耐強く生活しなければと改めて痛感しております。ただ、今までとは環境ガラッと変わったことで、「何気ないことにイライラする」「腹を立てる」「心配で眠れない」「食欲がない」などといった精神的なストレスが増え、次第に笑顔も減っているのではありませんか…？どうしても見えないトンネルのような環境におかれると、先を見通すことが困難になり、不安や絶望に陥ることがあると思いますが、お子様は、周囲の大人や親を見て育ちます。ことわざの中にも「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」というものがありますが、その方の考え方次第で、道が開けると思います。このような事態になった以上、今は、出来ることを行い、コロナウイルス感染が終息し元の幸せな生活を思い浮かべて、ご家族の皆さんで思いやりをもち、笑顔で過ごせるよう工夫していきましょう。笑顔は、人の心を温かくしほっとさせ、安心させ、勇気を与えます。その他にも、ストレス解消、免疫力アップ、血行促進、人間関係の潤滑油、自律神経の安定、美容効果などがあります。大人は、普段から子どもに比べて、笑わないと言われていました。作り笑いでも効果はあるそうなので、プラス思考で笑顔に努め、免疫力をつけてみてはいかがでしょうか？子ども達も、笑顔いっぱいのご家庭で過ごすことが出来れば、今後保育がスタートした時も情緒が安定しスムーズな園生活が送れると思います。職員も、園内を隅々消毒し、体調管理を徹底して、自己研鑽に勉めコロナウイルス終息後の教育・保育計画を立て、子ども達を迎える準備をしております。もうしばらくご理解とご協力をお願いいたします。

今後も、長いお休みが続きますので、うがい手洗いを忘れずに体調管理に留意され、お子様の家庭内での事故にもご注意くださいませ。お互いコロナウイルスに負けないよう強い気持ちで頑張りましょう。

